



7月の京都といえば「祇園祭」。祇園祭は八坂神社の祭礼で、7月1日から1ヶ月間行われます。

(こちらの記事もチェック↓)

17日(前祭)と24日(後祭)に行われる、祭りのクライマックスともいえる山鉾巡行には全国からたくさんの方が訪れます。

その巡行の前日・前々日を「宵山」「宵々山」といい、四条烏丸界隈には屋台がたくさん立ち並びます。そう、祇園祭のもう一つの魅力でもあるのがこの宵山・宵々山！各山鉾の手ぬぐいや御朱印などの限定グッズのほか、祇園祭の時にしか食べられない期間限定の絶品グルメがたくさん登場します。その中から KYOTO SIDE 編集部おすすめの3品をご紹介します。

行列必至！膳處漢ぽっちりの「しみだれ豚まん」



四条烏丸にほど近い中国料理店 膳處漢(ぜぜかん)ぽっちりでは7月13～16日の4日間限定で「しみだれ豚まん」が販売されます。フカフカの生地につぶりの豚肉あんが詰まった少し大きめの豚まんは、購入時に香ばしい醤油ダレをたっぷりしみしみになるまで塗ってくれます。そして豚まんを割れば、中から溢れんばかりの肉汁が。具ももちろん肉・肉・肉！の大ボリュームでずっしり！やみつきになること間違いなしの、宵山グルメの中でもトップクラスの人気を誇る逸品です。

お店の前は食欲をそそる香りが漂い、販売初日から長～い行列ができるほど。各日、売り切れ次第終了なので、お店が始まる11時～昼過ぎを狙うのがおすすめです！

【商品情報】しみだれ豚まん 500円

■■INFORMATION■■■

膳處漢ぽっちり

075-257-5766

京都市中京区天神山町 283-2

ランチ 11:30～15:00(14:00LO)、ディナー17:00～22:30(21:30LO)

無休

<https://kiwa-group.co.jp/zezekan/>

占出山のご利益を授かれるかも？大極殿本舗の「吉兆あゆ」



祇園祭の山鉾の1つである占出山(うらでやま)は、御神体「神功皇后」が鮎を釣って戦いの勝敗を占い、またその戦いを勝利に導いた後、皇子を出産したことから、安産と勝負運にご利益があるとされています。その占出山でしか買えない「吉兆あゆ」は、カステラで有名な老舗和菓子店・大極殿本舗で販売されます(7月13～16日)。

粽(ちまき)の形をしたパッケージを開ければ、ふわりと漂う香ばしい匂い。吉兆あゆはやわらかい生地の中にはもちっと伸びる真っ白な求肥がたっぷり入った、鮎の形をした夏菓子です。しかも吉兆あゆは祇園祭期間中は粽型のパッケージで販売されますが、中のお菓子は「若あゆ」として5月中旬～9月中旬に店舗で購入できちゃいます。もっと食べたいな～と思った時は、まだまだ食べられますのでお見逃しなく！

(ちなみに、一般的に売られている山鉾の粽は食べられませんのでご注意ください！)

【商品情報】吉兆あゆ 1188 円

■■INFORMATION■■■

大極殿本舗 六角店 栖園

075-221-3311

京都市中京区六角通高倉入ル南側堀ノ上町 120

和菓子販売 9:00～19:00、甘味処 10:00～17:00

水曜定休

山鉾巡りのお供に 永楽屋の「水あずき」



鯉山町にある京佃煮と和菓子のお店 永楽屋 室町店では、この祇園祭の期間中だけ頂ける夏ドリンクがあります。その名も飲む羊羹「水あずき」。夏にあんこ？甘すぎない？と思われるかもしれませんが、実はのど越しよくさっぱりした甘さで、さらりとしたこしあんとふるふるの寒天が織り成すコンビネーションが絶妙、熱気あふれる祇園祭にはもってこいの人気ドリンクなのです。また、お店がある鯉山は後祭なので、17 日前祭の山鉾巡行後、24 日の巡行まで購入できるのもうれしいですね。7 月 13～24 日(18 日は休業)の 11 日間販売されますが、数に限りがあるのでお早めに。営業時間も変則的なので要チェックです。

【商品情報】水あずき 350 円

■■INFORMATION■■

永楽屋 室町店

075-255-6601

京都市中京区室町通蛸薬師上る西側

9:00～18:00(祇園祭中は変更あり、下記参照)

13 日 9:00～18:00

14 日 11:00～21:00

15・16 日 11:00～22:00

17 日 9:00～17:00

19 日 11:00～18:00

20 日 11:00～19:00

21 日 11:00～20:00

22 日 11:00～21:00

23 日 11:00～22:00

24 日 9:00～18:00

日曜、祝日、第 3 土曜定休

<http://www.eirakuya.co.jp/>